

基本構想を策定

今後10年間のまちづくりの指針となる、「にかほ市基本構想」が、市議会で議決され決定しました。
市民の皆さんや、にかほ市に關わるさまざまな人々とともに、この「基本構想」に基づいて、まちづくりに取り組んでいくこととなります。



計画策定の趣旨

平成17年10月1日、仁賀保町、金浦町、象潟町の3町が合併し、にかほ市が誕生しました。
この合併協議の際に、平成17年1月には、仁賀保町・金浦町・象潟町合併協議会において、新市の速やかな一体化と、均衡ある発展を目的に、「夢あるまち 豊かなまち 元気なまち」を基本理念とした「新市まちづくり計画」が策定され、合併後はこの計画に基づき行政運営を行ってまいりました。
新しい総合発展計画は、新市まちづくり計画で定められた「まちづくりの基本理念」を受け継ぎ、市民アンケートの調査結果や住民検討委員会からの提言などを参考とし、行政運営全般にわたる総合的な指針を定めるものです。

まちづくりの基本理念

日本海に面し、鳥海山に抱かれたにかほ市は、農業と電子部品製造業が集積する工業を基幹産業に、日本海の恵みを生かした漁業、豊かな自然と貴重な歴史・文化遺産に支えられた観光など、豊富な資源に恵まれ、順調な発展を遂げてきました。

こうした地域の個性や多様な資源を生かしながら、次世代に継承できる特色あるまちづくりを進めるため、従来からの農・水・商・工という枠組みを超えた連携による産業振興のもと、就労の場が確保され、自然豊かで快適な生活環境の整った、「住みたいまち にかほ」を目指します。

新しいにかほ市の理想として、ふるさとを愛する市民の心の和を高く掲げ、その理想を達成するために、「夢あるまち 豊かなまち 元気なまち」を基本理念とします。

総合発展計画の構成

総合発展計画は、にかほ市のあらゆる施策の基本となるものです。

目指すべきまちづくりの将来像を表す「基本構想」、その実現に向けた取り組みを示した「基本計画」、基本計画で示した施策の目的を達成するために必要な主要事業を具体的に示す「実施計画」の3つにより構成

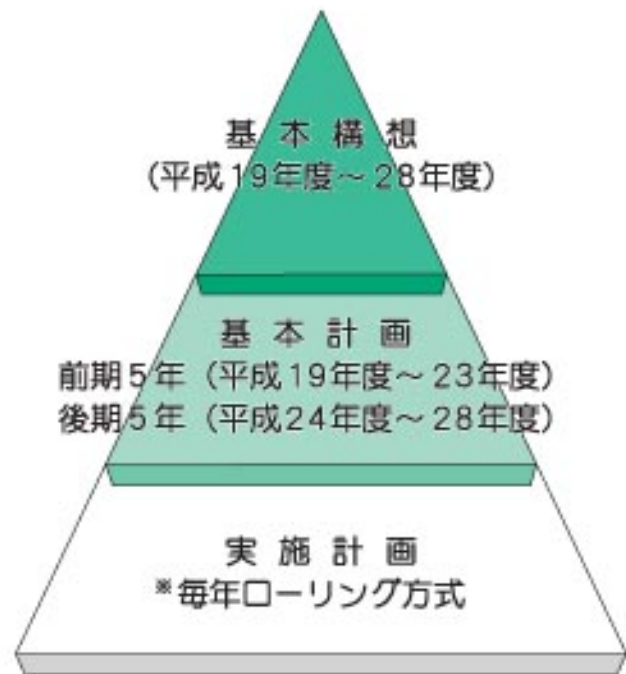


図1 総合発展計画の構成

※ローリング方式 計画の練り直しや見直しのこと、計画の実施過程において、計画と実績との間に食い違いが生じていないかを毎年チェックし、違いがある場合は、実績に合わせて計画の再編成を行い目標の達成を図る方式

されています。
このほど策定した「にかほ市基本構想」は、図1のとおり、最上位の長期計画にあたるもので、計画期間が10年となっています。
中期計画である前期基本計画を含め、これらの計画の概要については、今年4月に、ダイジェスト版のパンフレットを市内の全世帯に配布し、皆さんにお知らせする予定です。

◆夢あるまち◆

市民一人ひとりが、健康で輝き、思いっきり明るい夢と希望を語り、誇りの持てるまちづくりを目指します。

◆豊かなまち◆

緑豊かな森、美しい清流など恵まれた自然に育まれ、田園と都市が調和する地域づくりに努めるとともに、経済的な豊かさ、心の豊かさやゆとりを感じる事ができる、魅力あるまちづくりを目指します。

◆元気なまち◆

世界的視野に立った連携や交流を進め、新しいことにどんどんチャレンジする元気なまちづくりを目指します。



図2 にかほ市の将来像